



加古川市立神吉中学校 学校だより 校長室より 第16号

「情報モラル教室」を実施しました！

インターネット上の世界には、子どもたちにとって役立つ情報がたくさんある一方で、不適切なサイトなどにアクセスし、犯罪やトラブルに巻き込まれるケースも後を絶ちません。メールやインターネット掲示板、SNSなどのコミュニティーサイトは、利用方法を誤ると、巧みな言葉で誘惑され、犯罪に加担してしまうこともあります。



子どもたちが、このような犯罪やトラブルに巻き込まれないようにするために、6月11日（水）には、東播少年サポートセンター所長（兵庫県警）に講師をお願いし、「情報モラル教室」を実施しました。

警察が認知する少年犯罪やトラブルの原因が、スマホ、ネット関連であることが増えている現状を踏まえ、「身近に潜む危険」についてわかりやすく説明してくださいました。ネットトラブルにつながる要因として、「相手の顔が見えないこと」「相手が誰かわからないこと」「人の感情を送信することができないこと」「情報が正しいとは限らないこと」「使い方によっては、知らないうちに個人情報流出することがあり、一度流出した情報は回収不可能であること」が挙げられていました。使い方を間違えると、人や自分を傷つけてしまう危険性があることを心得ておく必要があります。また、インターネット空間を通じて、犯罪行為や違法行為が潜在化し、親や学校、警察などの大人から見えにくくなってしまうことが心配されます。実際にあったトラブルとして、ふざけた投稿や、仲間外れなどのいじめ、アカウントの乗っ取り、課金トラブル、自撮りによる性被害などが事例として挙げられていました。最近では、生成AIサイトや画像加工アプリ等を使用した悪ふざけにより、名誉棄損やストーカー規制法違反の罪に問われたケースもあるそうです。最近のAI技術の進歩により、検索結果から興味のある項目が継続してピックアップされるようになっており、自分たちにとって都合のいい情報ばかりがクローズアップされるため、偽情報に惑わされないように、何が真実なのかをしっかりと見極める必要があります。

生徒のみなさんは、本日の「情報モラル教室」で学んだことを念頭に置いた上で、インターネットを有効活用してください。

保護者のみなさまは、子どもたちが犯罪やトラブルに巻き込まれないよう、見守りをよろしくお願いします。